

関東大震災から100年、9月1日は『防災の日』 台風や大雨・猛暑が続く中、急な災害に備えて

～オフィスビル入口『fuubo』に災害備蓄品として『The Week Sanitary Pad』取扱い開始～

株式会社スタイリングライフ・ホールディングス プラザスタイル カンパニー(東京都新宿区、以下:プラザスタイル)は、フードロス削減ボックス「fuubo (フーボ)」を展開するZERO株式会社(本社:東京都台東区、以下:ZERO)と共に、無人販売機である「fuubo」に、PLAZAオリジナルパッケージのオーガニック生理用ナプキン「The Week Sanitary Pad」(以下、「The Week」)を災害備蓄品としてストックし、『災害救援販売機』としてのインフラ機能の拡充を行います。

災害の発生により、万が一ライフラインが寸断されてしまった場合、その復旧や支援物資が届くまでの期間、fuuboを一時的にフードロスや衛生用品等を提供するインフラとして活用ができます。まずは9月1日より、都内渋谷区に位置するオフィスビル『青山ファーストビル』を皮切りに「The Week」の取り扱いをスタートします。



現在、株式会社スタイリングライフ・ホールディングスは、2023年3月よりフードロス・CO₂の削減に向けた取り組み及び、従業員の福利厚生として「fuubo」を導入しています。

2023年8月時点で、fuuboは全国に累計66台が設置されており、これまでフードロス商品をお得に提供してきましたが、今後はより「身近で・便利で・不可欠な」存在となっていけるよう、fuuboの活用手段・役割を多様化し、設置台数を増やしていく予定です。

2023年は、死者・行方不明者合わせ10万5千人にもものぼった関東大震災から100年の節目の年でもあります。現在も震災や地震など災害時には、避難所で食料など足りていない状況が起きています。

そこで、fuuboに災害備蓄品をストックすることで、フードロスの販売・提供だけでなく、災害救援販売機としての役割を担うことが可能となります。まずは、オフィスビルである青山ファーストビルにて、fuuboの最下段に災害備蓄品の取り扱いを開始します。

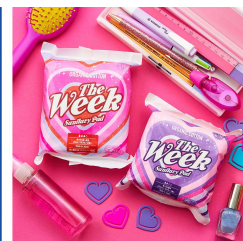
この度、上記の目的に賛同し、PLAZAオリジナルパッケージのオーガニック生理用ナプキン「The Week」の提供をスタートさせました。

「The Week Sanitary Pad」について

現代を生きるあらゆる世代の女性たちのこころとからだに、あたらしい出会いを届けるプロジェクト「Nice to meet me!」の企画第一弾として発売された、PLAZAオリジナルパッケージのオーガニック生理用ナプキン「The Week Sanitary Pad」。「ソーシャルプロダクツ・アワード2023」や「第7回女性のあした大賞」優秀賞など受賞。現在、全国のPLAZA・MINIPLAおよびPLAZA オンラインストアで販売しています。

世界初(※)、肌に触れる部分が全てコットン100%のため、やさしい肌ざわりでかぶれにくい仕様です。また、不安の多い災害時でも、気分が少しでも晴れるような、ポップなパッケージデザインであることにより、今回、fuuboの災害備蓄品として選出いただきました。

(※ シェリコット調べ(2019年1月))



「fuubo」について

「fuubo (フーボ)」はまだ美味しく食べることができるにも関わらず、納品期限切れや季節限定パッケージなどにより場合によっては廃棄されてしまう可能性のある食品を、お得に提供しているフードロス削減BOXです。フードロスを買うことに同意して会員登録を行ったユーザーは、専用WEBサイトから受け取りに行けるボックスを選び、その中に入っている商品をオンライン決済にて購入することができます。

2021年6月にサービスを開始し、2024年3月までに累計で 300台以上の設置を見込んでいます。さらに、フードロス削減量をCo2排出削減量に変換することで、SDGsの取り組みの見える化が可能となっています。

